



学校教育目標【自主】【寛容】【挑戦】

重点目標「目標の実現に向けて、自ら努力する生徒」

# 原町三中だより

南相馬市立原町第三中学校

学校だより 第17号

令和5年11月8日(水)発行

発行者 校長 和田節子

## これが三中！これぞ三中！ 燦稜祭☆大成功！！

歌って、踊って、演技して。いったい、一人何役をこなしたことでしょう。それぞれが、自分の個性を存分に発揮し、「やり切った」と笑顔で言える最高の文化祭になりました。

まずは開祭式。実行委員長の思いのこもったあいさつ。テーマを表現した創作劇&動画「青春どろぼう」の上演。そして、全校生が細かいシールを貼り付けながら完成させたビッグアート。披露された瞬間、会場からは歓声が上がりました。

最初のプログラムは合唱。1年生は元気にハツラツと、2年生は正確な音程で美しく、3年生は残り少ない中学生活への思いを込めて歌い上げました。続いて、総合的な学習の時間の成果発表。1年生は「南相馬 PR 大作戦！」と題して、地域探究学習で学んだことを「ゆるキャラ」「双六」「ポスター」「CM」にまとめて発表しました。2年生は、職場体験学習での学びを、ICTを駆使しながら独創的な劇と動画で表現。3年生は福祉体験でのエピソードを臨場感たっぷりに表現しました。

総合表現タイムでは、全校生で取り組んだ「チャレンジ動画」、オーストラリア研修に参加した生徒による体験発表、オタ芸、J-POP、K-POP、アクロバット、学年ダンス、そして全校生+教職員によるジャンボリミッキー！全校が一体となり、三中らしさが全開した時間でした。



午後は、吹奏楽部の迫力ある演奏と恒例の教職員バンド。どちらも手拍子と声援で大いに盛り上がりました。工夫を凝らした各教科の展示や文化祭のしおり、カウントダウンポスター等も見応えがありました。

保護者の皆様には、食券販売や食品購入、引き換え等にご尽力いただき、本当にありがとうございました。何より、温かいご声援と拍手で生徒達を励ましていただきましたことに心より感謝申し上げます。

次号では、生徒の「振り返り」と保護者アンケートを通して、燦稜祭のねらい（個性や能力を発揮し、対立・葛藤・板挟みを乗り越えて皆で力を合わせ、学びや感動を創り上げる）の達成度を考察していきたいと思います。